



第40回(平成28年度) 久留米市民意識調査 報告書《速報版》

 水と緑の人間都市・久留米

I 調査のあらまし

(1) 目的

市民意識調査は、今後の市政運営の基礎資料を得るために毎年実施しているものです。

今回の意識調査は、①行政施策 ②地域コミュニティ活動 ③防災対策 ④超高齢社会のまちづくり という4つのテーマについて実施しました。

1. 行政施策 久留米市への愛着度、住みやすさ、定住意向、市の状況をどう感じるかなどについて調査し、久留米市新総合計画に掲げる施策の目指す成果の達成状況を把握する基礎資料として活用します。

2. 地域コミュニティ活動 地域コミュニティ活動への参加経験・意向、自治会への加入状況などについて調査しました。市民との協働を推進するための基礎資料として活用します。

3. 防災対策 自然災害に対する不安や災害情報の入手手段などについて調査しました。地域防災計画の見直しなど防災対策の基礎資料として活用します。

4. 超高齢社会のまちづくり 超高齢社会を迎える久留米市の現状と市民の意識を調査しました。調査は、①「仕事」②「健康づくり」③「文化活動・生涯学習」④「高齢者支援活動」⑤「公共交通機関」⑥「終末期医療・介護」についての現状やニーズ・意向と、「超高齢社会に向けたまちづくり」の視点で市が取り組むべきことについて聞いています。

調査の結果は、「来るべき超高齢化社会に向けて、人と人が支えあい、住み慣れた地域で健康・安心に暮らし続けられるまちづくり」を行うための基礎資料として活用します。

(2) 調査方法

- 調査地域 久留米市全域
- 調査対象者 久留米市に在住する満20歳以上の人
- サンプル数 2,000
- 抽出方法 住民基本台帳からの二段無作為抽出法
- 実査方法 調査票を郵送し、調査員が訪問回収を行う郵送法併用の留置法
(調査票は封筒に封入したものを回収)
- 実査期間 平成28年7月22日～8月5日
- 回収数(率) 1,764票(88.2%)
- 調査の企画と実施 企画 久留米市 協働推進部 広聴・相談課
実施 西日本新聞社 お客さまセンター 調査・マーケティンググループ

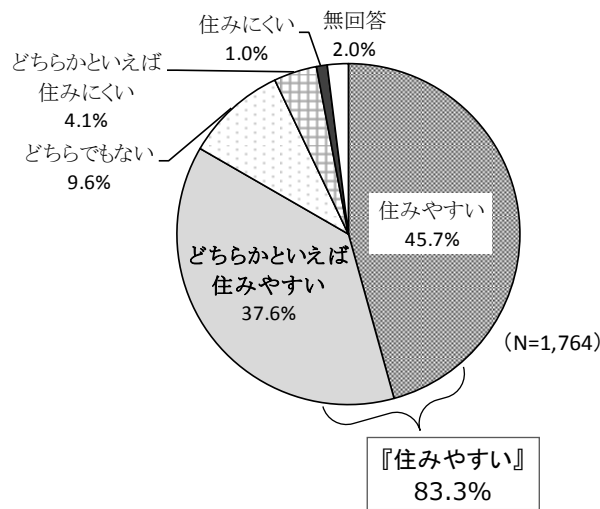
Ⅱ 主な調査結果

1. 行政施策

(1) 久留米市の住みやすさと住みやすい理由

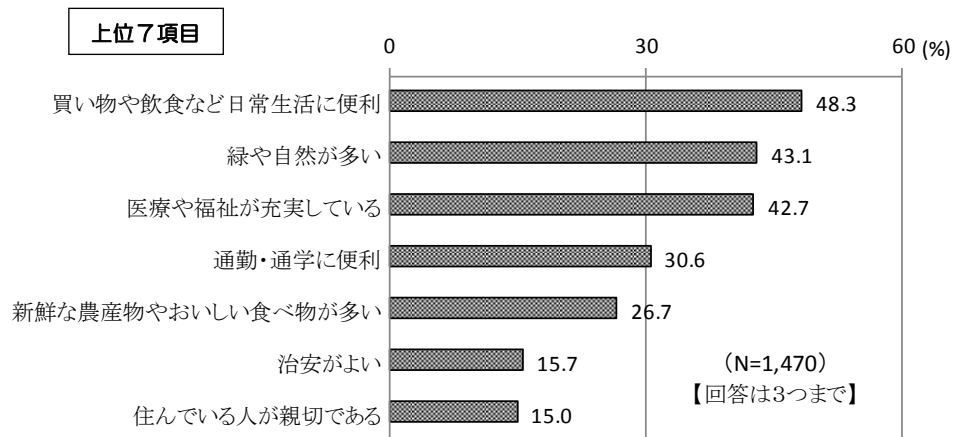
◆久留米市は住みやすいと感じている人は約8割。住みやすいと思う主な理由の上位は、「日常生活の便利さ」「緑や自然の多さ」「医療や福祉の充実」。

問 あなたは、久留米市は住みやすいと思いますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



●「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人に

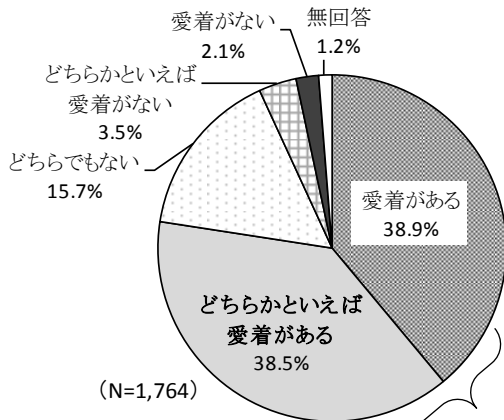
付問 あなたが住みやすいと思う主な理由は何ですか。次の中から3つまで（2つ以内でも構いません）選び、番号に○印をつけてください。



(2) 定住意向、久留米市への愛着

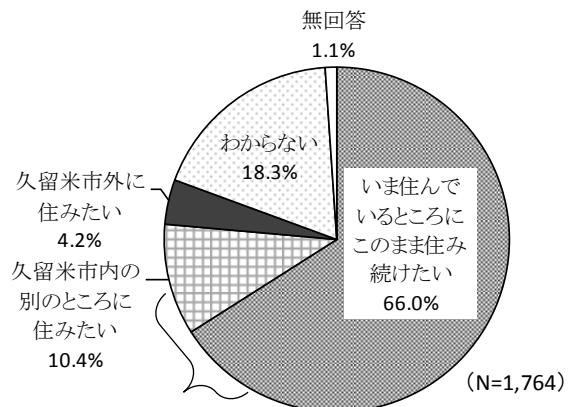
◆約8割の人が久留米市に愛着を持ち、久留米市に住み続けたいと思っている。

問 あなたは、久留米市に愛着がありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



『愛着がある』
77.4%

問 あなたは、今後も久留米市に住み続けたいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

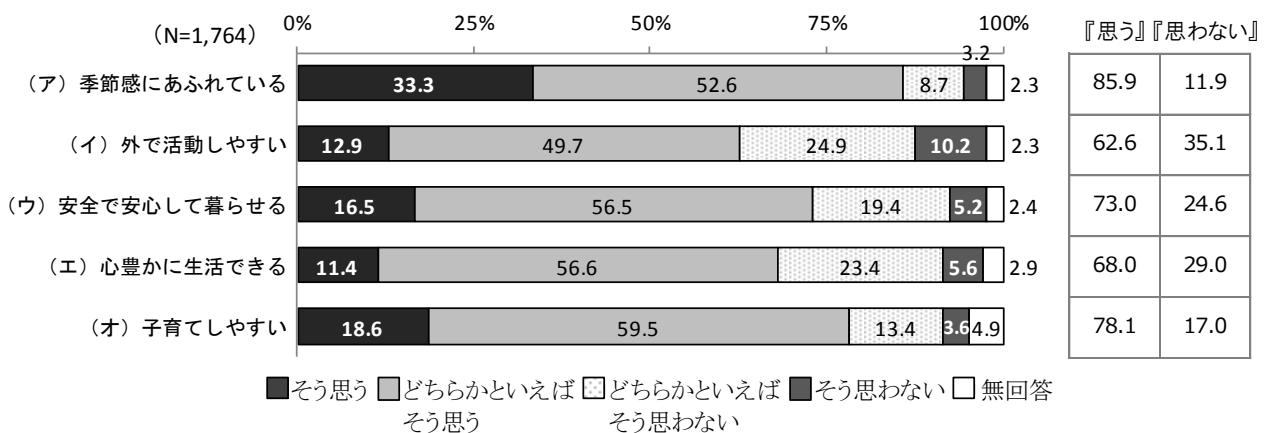


『久留米市に住み続けたい』
76.4%

(3) 久留米市の状況

◆久留米市は「季節感にあふれている」(85.9%)と「子育てしやすい」(78.1%)で高い評価。

問 久留米市の状況として、次の(ア)～(オ)の事柄について、あなたはどう思いますか。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)

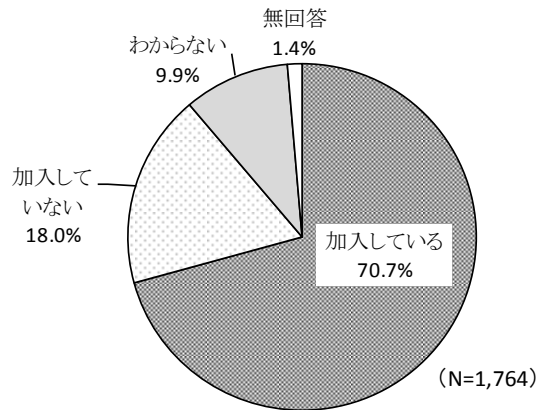


2. 地域コミュニティ活動

(1) 自治会への加入状況

◆居住している地域の自治会に加入している人は約7割。

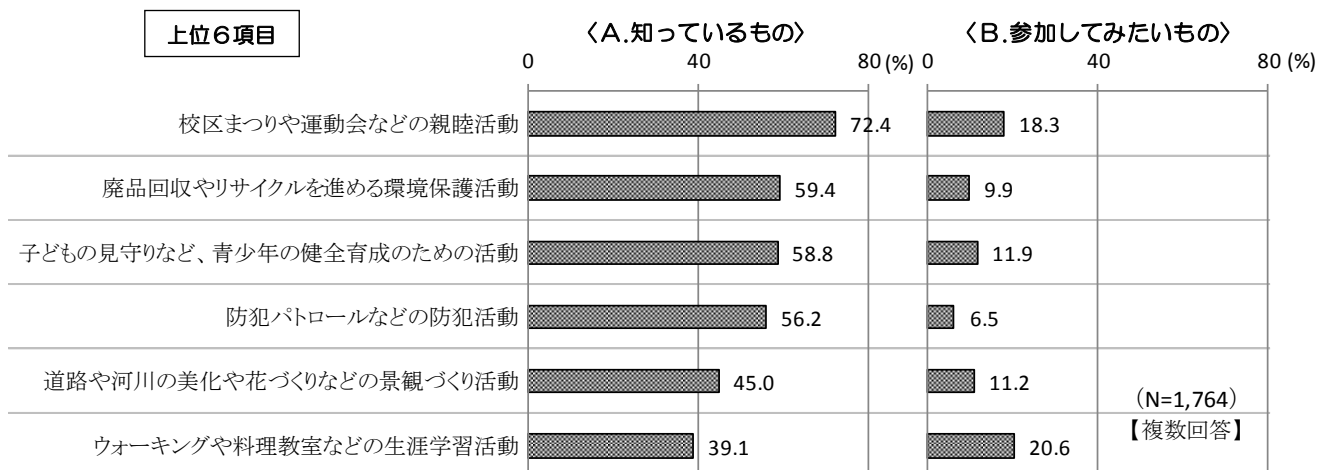
問 あなたは、居住している地域の自治会に加入していますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



(2) 地域活動の認知と参加意向

◆知っている地域活動では「校区まつりなどの親睦活動」、参加してみたい活動では「ウォーキングなどの生涯学習活動」が1位。

問 地域では、さまざまな活動などが行われています。あなたは、これらの活動を（A）知っていますか。また、（B）参加してみたいと思いますか。（A）、（B）それぞれについて、次の中からあてはまるものをいくつでも選び、番号に○印をつけてください。

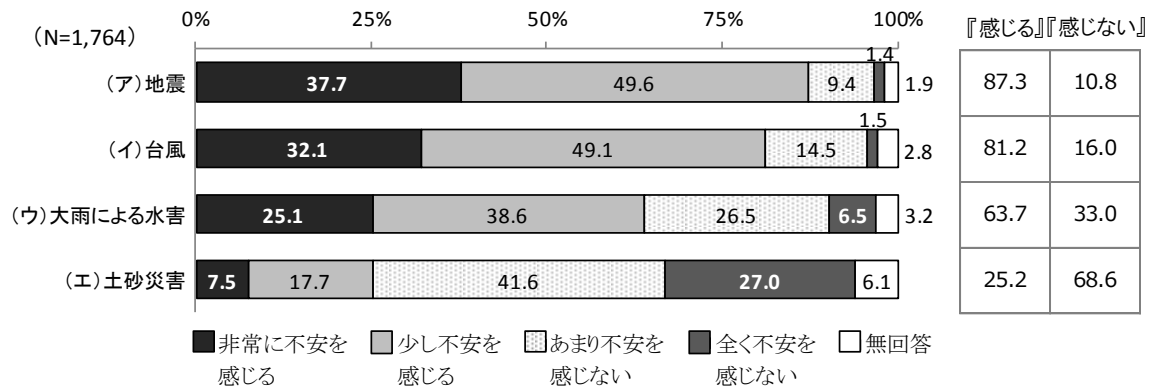


3. 防災対策

(1) 災害への不安感

◆ 8割を超える人が「地震」と「台風」による自然災害にあう不安を感じている。

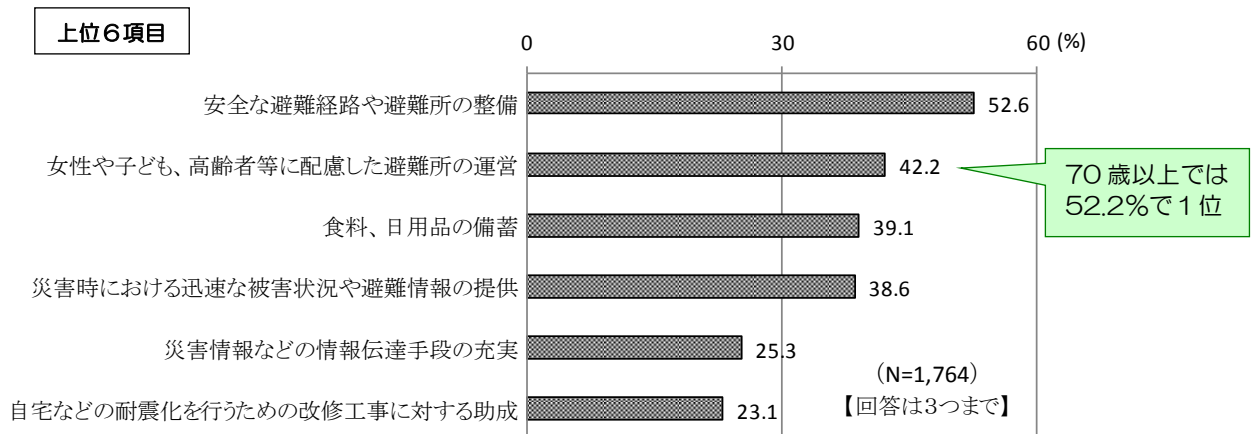
問 あなたは、お住まいの地域で、次の（ア）～（エ）の災害にあうかもしれないという不安を感じますか。（あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印）



(2) 防災対策で特に力を入れてほしいもの

◆ 「安全な避難経路や避難所の整備」が52.6%で1位。

問 今後、久留米市が防災対策を進める上で、特に力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで（2つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。

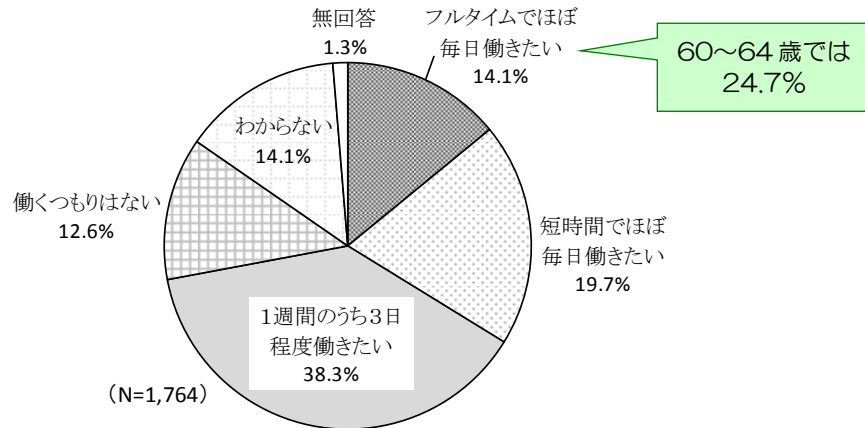


4. 超高齢社会のまちづくり

(1) 60歳以降の働き方

◆約7割の人が60歳以降も収入を伴う仕事をしたいと思っている。

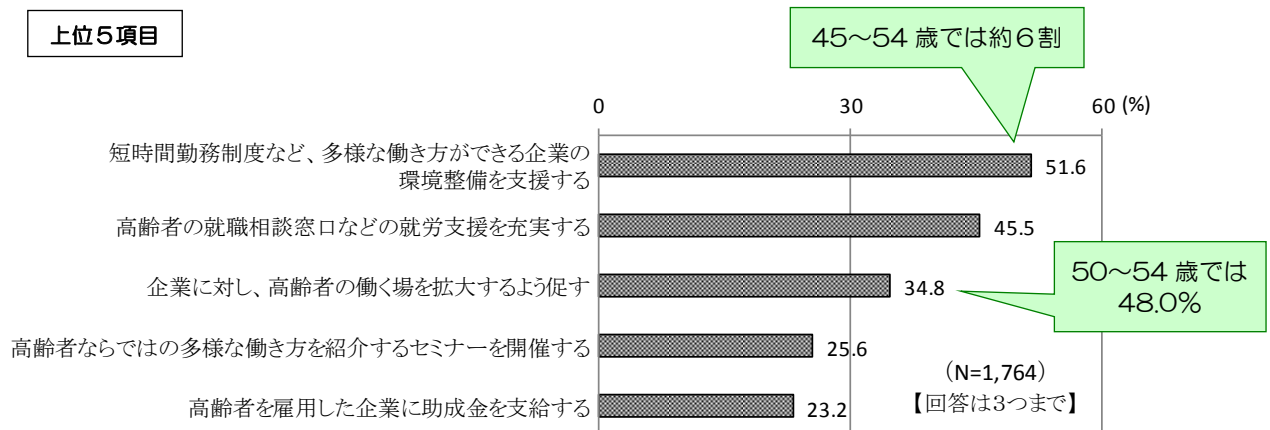
問 あなたは、60歳以降にどのような働き方（収入を伴う）をしたいと思いますか。（あてはまる番号に1つだけ○印） ※現在60歳以上の人は、現在の希望をお答えください。



(2) 高齢者の就労支援

◆「多様な働き方ができる企業の環境整備の支援」と「就職相談窓口など就労支援の充実」が上位。

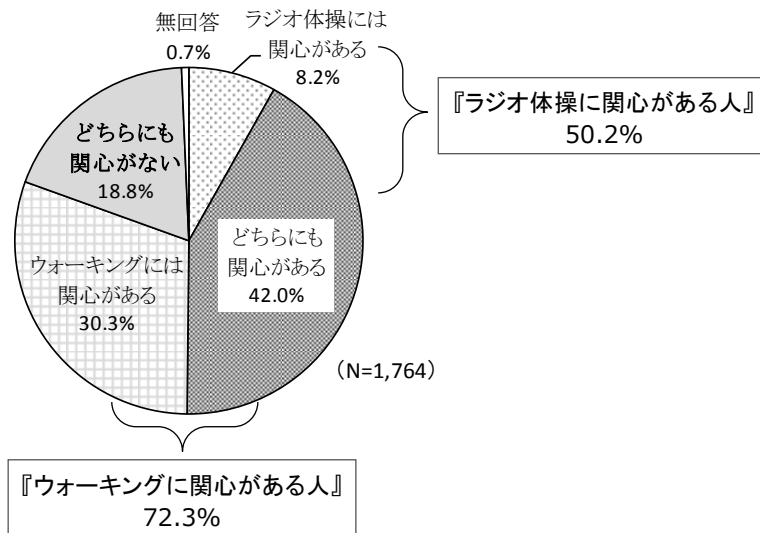
問 あなたは、高齢者の就労を推進するために、特に重要な取り組みは何だと思いますか。次の中から3つまで（2つ以内でも構いません）選び、番号に○印をつけてください。



(3) 関心がある健康づくりへの取り組み

◆ラジオ体操に関心がある人は 50.2%、ウォーキングに関心がある人は 72.3%。

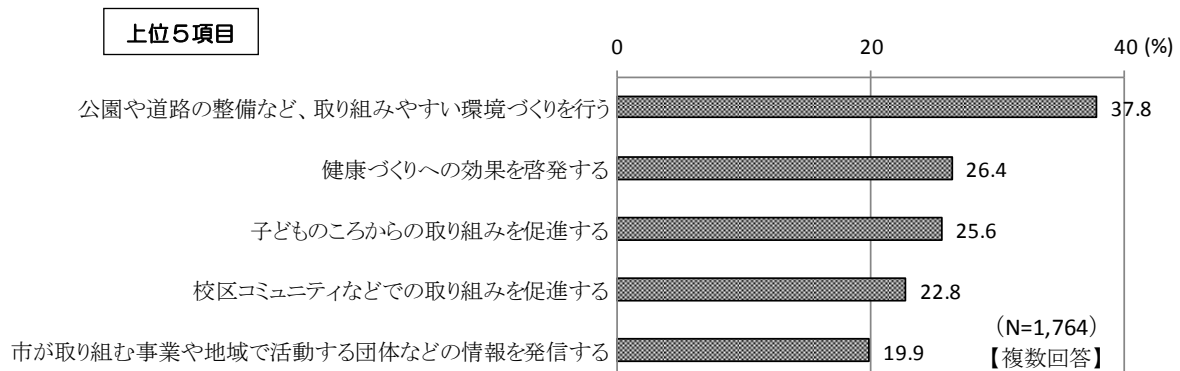
問 あなたは、高齢期になっても気軽に続けられる健康づくりの方法として、ラジオ体操（テレビ体操を含む）やウォーキング（軽度の散歩を含む）への取り組みに関心がありますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



(4) ラジオ体操、ウォーキングを普及させるための取り組み

◆「公園や道路の整備など、取り組みやすい環境づくりを行う」が 37.8%で最も高い。

問 あなたは、ラジオ体操やウォーキングを市民にもっと普及させていくために、どのような取り組みを進めることが重要だと思いますか。（あてはまる番号にいくつでも○印）

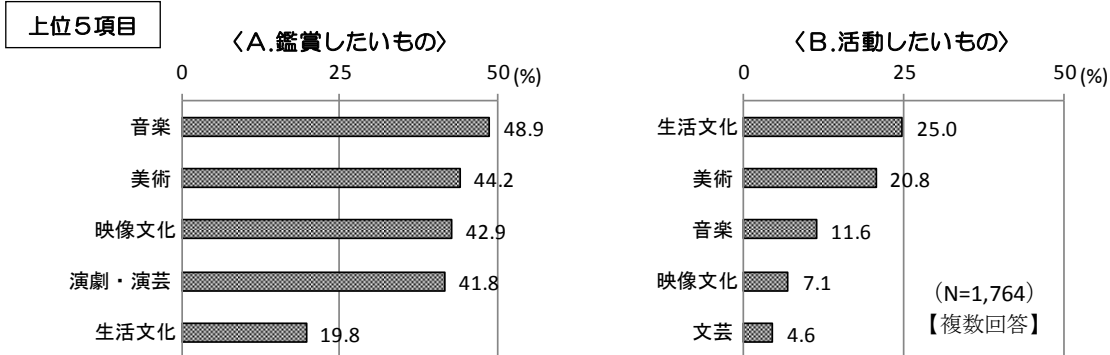


（5）鑑賞したい、活動したい文化活動

◆鑑賞したい文化活動では「音楽」が48.9%、活動したい文化活動では「生活文化（茶道、華道など）」が25.0%で1位。

問 あなたが、文化芸術の分野で高齢になっても取り組みたいものは何ですか。（A）鑑賞したいもの、（B）活動したいもの、それぞれについて次の中からあてはまるものをいくつでも選び、番号に○印をつけてください。

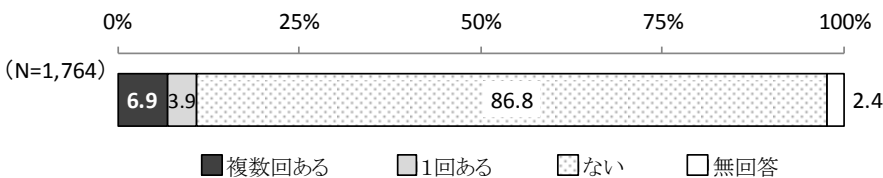
※ 活動とは、演奏や創作の他、指導やイベント運営支援などを含みます。



（6）生涯学習センターでの受講経験

◆この3年間で生涯学習センターの講座を1回以上受講したことがある人は10.8%。

問 あなたは、この3年間に生涯学習センター※で実施している講座を受講したことがありますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

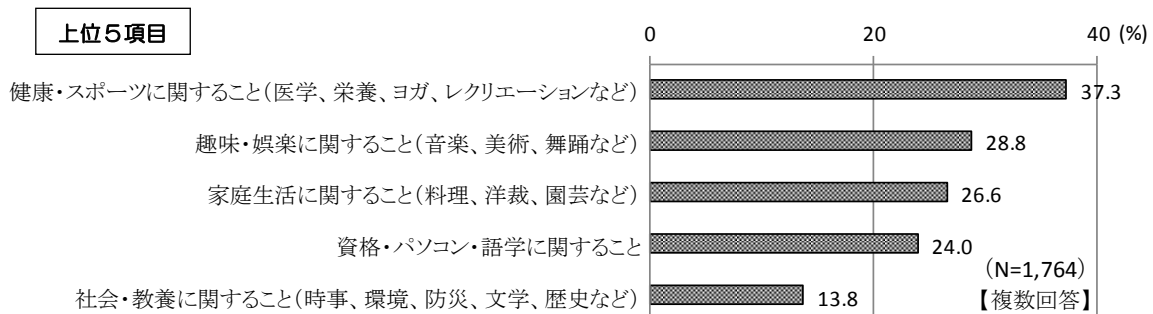


※久留米市の生涯学習センターは、
 ・えーるピア久留米
 ・田主丸複合文化施設（そよ風ホール）
 ・北野生涯学習センター（旧北野公民館）
 ・三潁生涯学習センター（旧三潁公民館）
 ・城島総合文化センター の5か所です。

（7）生涯学習センターで受講してみたいもの

◆「健康・スポーツに関すること」が37.3%で1位。

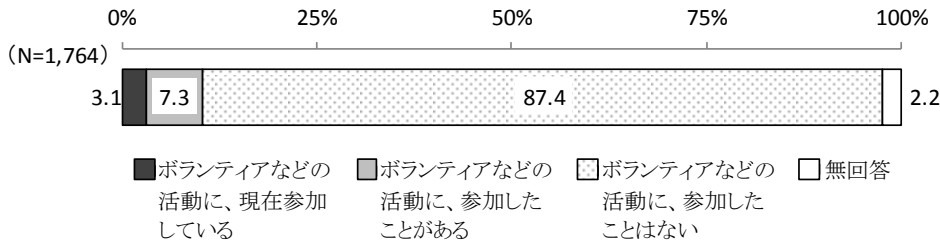
問 今後、あなたが生涯学習センターで受講してみたいと思う講座の分野は次のうちどれですか。（あてはまる番号にいくつでも○印）



(8) 高齢者支援ボランティア活動の参加経験

◆高齢者を支援するボランティアなどの活動参加経験は10.4%。

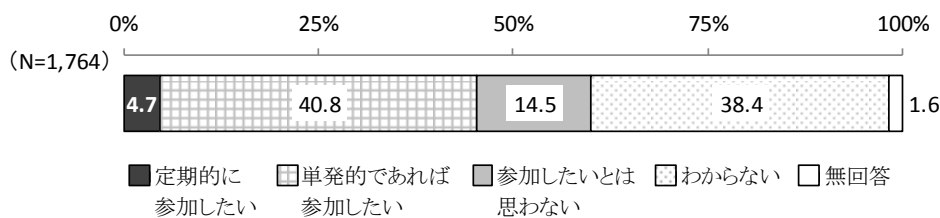
問 あなたは、最近5年間で、高齢者を支援するボランティアなどの活動に参加したことがありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



(9) 地域での支え合い活動への参加意向

◆高齢者支援のために住民参加による地域での支えあい活動に参加してみたいと思う人は45.5%。

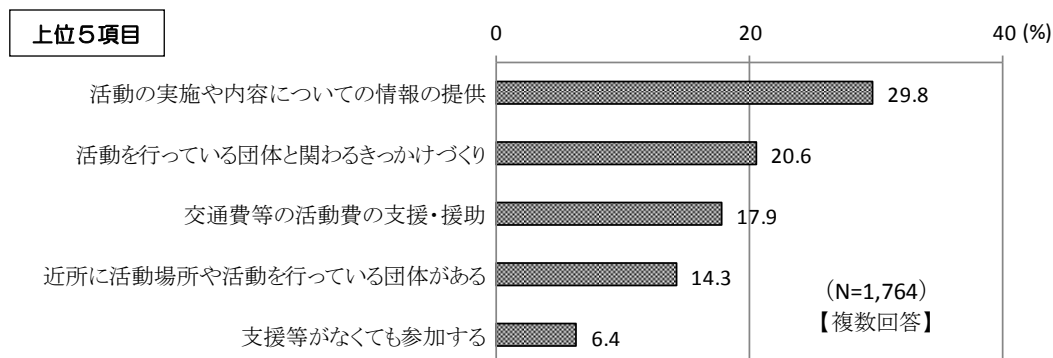
問 あなたは、高齢者への支援など、住民参加による地域での支え合い活動に今後参加してみたいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



(10) 支え合い活動に参加するための支援や環境

◆「活動の実施や内容についての情報提供」が29.8%で1位。

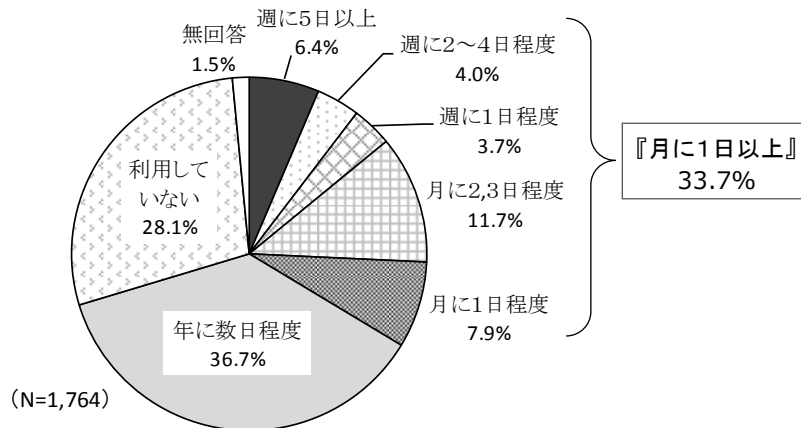
問 あなたは、どのような支援や環境等があれば、住民参加による地域での支え合い活動に参加したいと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



(11) 公共交通機関の利用状況

◆月に1回以上公共交通機関を利用している人は33.7%。

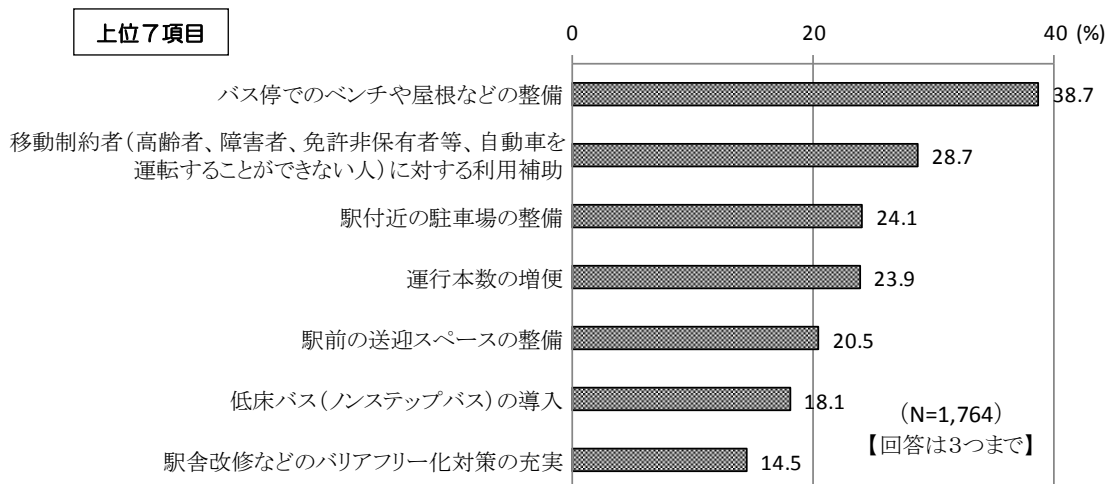
問 あなたは、ふだんの生活の中で鉄道、バスなどの公共交通機関を、どれくらいの頻度で利用していますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



(12) 公共交通機関の利用促進のための取り組み

◆「バス停でのベンチや屋根などの整備」と「移動制約者に対する利用補助」が上位2項目。

問 あなたが、高齢になっても鉄道、バスなどの公共交通機関を利用するためには、どのような取り組みを進めることが望ましいと思いますか。次の中から優先したいものを3つまで（2つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。

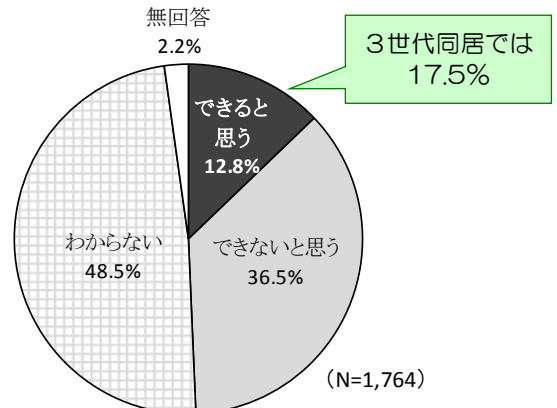
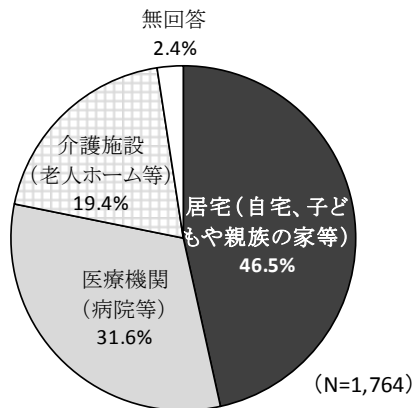


(13) 最期を迎えたい場所、自宅で最期を迎えられるか

◆最期を迎えたい場所では、「居宅」が46.5%で最も高い。一方、居宅で安心して最期を迎えることができると思う人は12.8%。

問 あなたが病気などで治る見込みがない状態になった場合、どこで療養生活を送り最期を迎えたいですか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

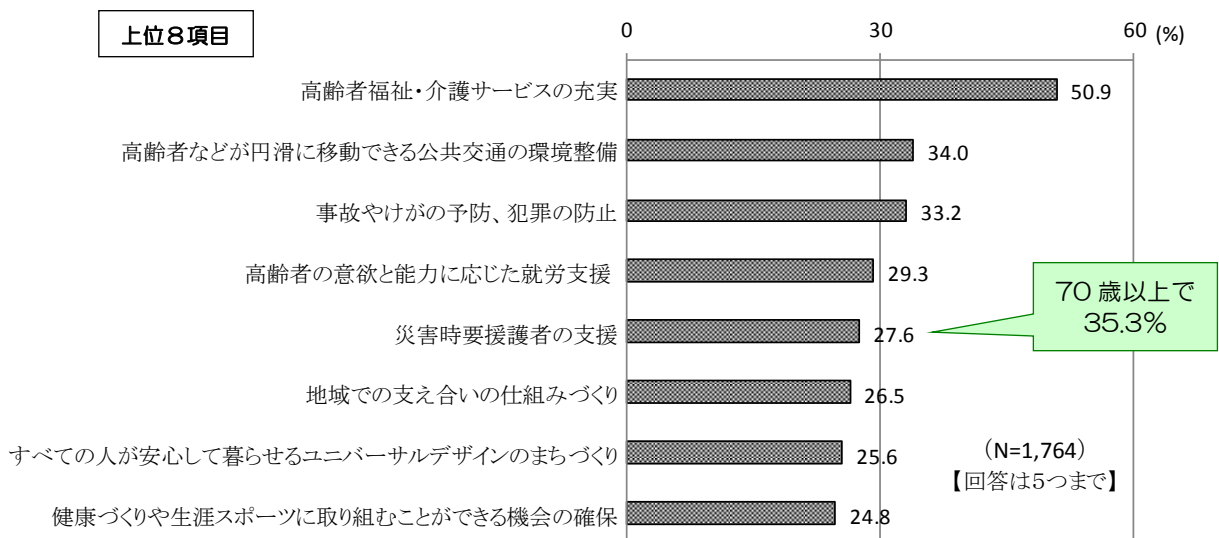
問 あなた自身や同居の人が人生の最終段階を迎えた場合に、安心して居宅で療養し、最期を迎えることができると思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



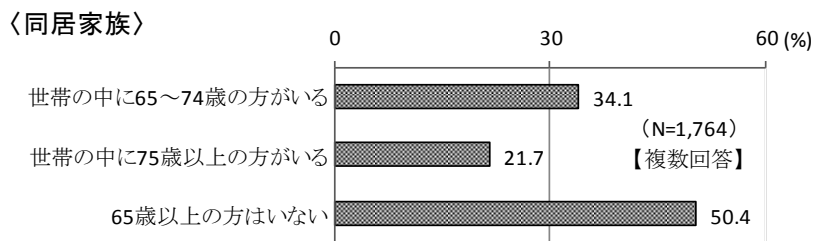
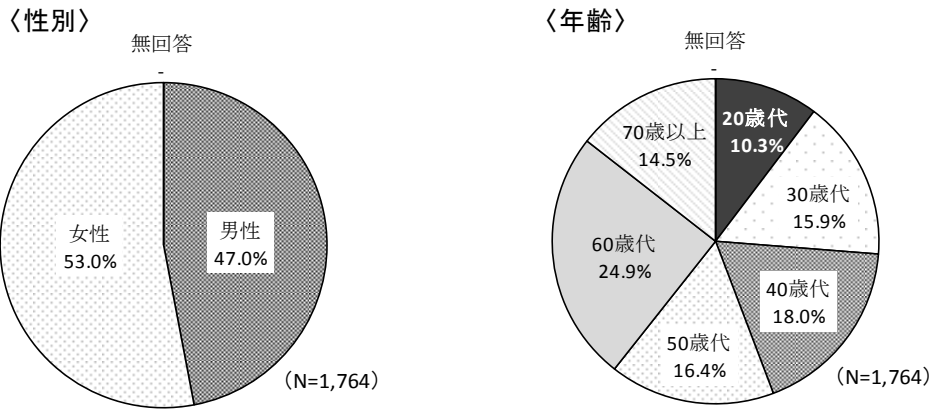
(14) 超高齢社会に向け取り組むべき施策

◆「高齢者福祉・介護サービスの充実」が50.9%で1位。「公共交通の環境整備」「事故やけがの予防、犯罪の防止」も3割を超えている。

問 超高齢社会を迎えた今、久留米市は、「人と人が支えあい、住み慣れた地域で健康・安心に暮らし続けられるまち」を目指しています。今後、久留米市は、どのようなことに特に取り組むべきだと思いますか。次の中から5つまで(4つ以内でもかまいません)選び、番号に○印をつけてください。



●調査対象者の構成



●ブロック別サンプル構成

ブロック別	配布数	有効回収数	有効回収率
東 部 A	140	128	91.4%
東 部 B	120	109	90.8%
北 部 A	190	161	84.7%
北 部 B	130	118	90.8%
中 央 東 部	250	223	89.2%
南 東 部	200	176	88.0%
中 央 部	270	236	87.4%
中 央 南 部	340	298	87.6%
南 西 部	170	147	86.5%
西 部 A	80	70	87.5%
西 部 B	110	98	89.1%
合 計	2,000	1,764	88.2%

●ブロック別校区名

ブロック	校 区
東 部 A	山川、山本、草野、善導寺、大橋
東 部 B	船越、水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸
北 部 A	小森野、合川、宮ノ陣
北 部 B	北野、弓削、大城、金島
中央 東部	西国分、東国分、御井
南 東 部	上津、高良内、青峰
中 央 部	荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石
中央 南部	鳥飼、金丸、南、津福
南 西 部	荒木、大善寺、安武
西 部 A	城島、下田、青木・浮島、江上
西 部 B	犬塚、三瀨、西牟田

第40回（平成28年度）
久留米市民意識調査報告書〈速報版〉
平成28年11月

編集・発行／久留米市 協働推進部 広聴・相談課
久留米市城南町15番地3
TEL. 0942-30-9015
FAX. 0942-30-9711
E-Mail. sodan@city.kurume.fukuoka.jp